

平成23年度個別施策ヒアリング資料(優先度判定)【経済産業省】

施策番号	27110	施策名		先導的産業技術創出に係る施策 (先導的産業技術創出事業、先導的省エネルギー産業技術創出事業、先導的非化石エネルギー産業技術創出事業)			
新規／継続	継続	領域	グリーン・イノベーション	国際的位置付け	—	AP施策	
競争的資金	○	e-Rad	○	社会還元			
施策の目的及び概要	産学官連携の集中拠点と連携した研究(拠点連携研究)や、グリーン・イノベーション及びライフ・イノベーションのための課題解決を目指す研究(課題解決研究)を行う大学・公的研究機関等の次世代研究者に対し、競争的な資金助成を行うことにより、我が国の将来の産業競争力を支える革新的な産業技術シーズの創出とそれを担う次世代人材の育成を行う。(助成期間:4年間または2年間)						
達成目標及び達成期限	本事業で助成した研究が、グリーン・イノベーション及びライフ・イノベーションのための課題解決に寄与することを目標とする。						
研究開発目標及び達成期限	助成終了後5年経過時点で、実用化研究段階・事業化段階へ移行したテーマが40%となることを目標とする。 また、助成終了テーマにおける平均特許出願件数が1件以上となることを目標とする。						
23年度の研究開発目標	産学官連携の集中拠点と連携した研究(拠点連携研究)や、グリーン・イノベーション及びライフ・イノベーションのための課題解決を目指す研究(課題解決研究)を採択・助成する。						
施策の重要性	国際競争の激化等により、民間企業による研究開発投資が短期的なものにシフトする中、我が国の持続的な経済成長を確保するため、我が国の将来の産業競争力を支える産業技術シーズの創出とそれを担う次世代人材の育成を行う本施策は、重要な施策と言える。						
実施体制	大学等の若手研究者個人へ10/10補助。 NEDOが提案公募を行い、技術の新規性や産業界へのインパクト等の観点から外部有識者委員会が審査・採択する。研究期間が4年間のテーマを対象に中間評価を実施し、優れた助成テーマに絞り込む。						
H22予算額(百万円)				H23概算要求額(百万円)			
3,092				3,157			
独立行政法人名(運営費交付金施策のみ)				NEDO			
H23概算要求額の内訳	<課題解決型研究> 1課題あたりの金額:14 ・うち間接経費:4 課題数:206 (うち、新規採択課題数:20) その他事務経費:58 <拠点連携研究> 1課題あたりの金額:35 ・うち間接経費:8 採択予定課題数:4 その他事務経費:3 <外国人招致費> 1人あたりの金額:16						

	・うち間接経費:4 採択予定人数:5 その他事務経費:2 —		
期間	H12～	資金投入規模(億円)	682
これまでの成果 (継続のみ)	<平成12年度からの成果累計(1094件、継続中テーマ含む)> 2010.5.20現在 ①特許 1687件(うち、特許取得まで進んだ案件は168件) ②査読付論文 4071件(国際誌:3548件、国内誌:523件) ③受賞 406件(産学連携功労大臣賞受賞:2件、市村学術賞:13件、先端技術大賞:9件、バイオビジネスコンペJAPAN最優秀・優秀賞12件等) ④実用化・事業化 65件 ⑤助成が終了した案件の実用化段階及び事業化段階比率 33%		
社会情勢・技術の変化(継続のみ)	・アジアの急成長などにより、研究開発の国際競争が激化し、民間企業の研究開発が短期的なものにシフト。 ・第2期科学技術基本計画が、競争的資金の倍増を目指すとともに間接経費の目安を当面30%程度とする目標を掲げたことを踏まえ、平成12年度に開始した本事業が、競争的資金制度を先導。(文部省以外の省庁から直接大学に研究資金を投入。国内初、若手研究者に絞り込んだ助成事業。間接経費30%の達成。ステージゲート方式の導入。)		
昨年度優先度判定(継続のみ)	着実	優先度判定時の指摘への対応(継続のみ)	—
国民との科学・技術対話推進への対応(対象施策のみ)	—		